

株式会社 関西遠心分離機製作所

顧客ニーズに合わせて 遠心分離機を一貫生産

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



血液製剤製造用遠心分離機

主な事業内容

遠心分離機製造・販売

主な取引先(納入先)

医薬品メーカー、化学品メーカー、
食品メーカー、大学

主な製品

生産用遠心分離機

業務 内容

大正時代から 医薬品業界に製品供給

関西遠心分離機製作所は製造現場で使われる生産用遠心分離機を製造・販売する。高速回転する金属製の筒に混合液を連続注入し、遠心力を利用して固体と液体や、比重の異なる液体と液体を短時間で分離する。

大正7年に勝見尚央社長の曾祖父が創業し、企業として100年以上の歴史を持つ。当時から大阪・道修町などに数多く立地していた医薬品メーカー向けに遠心分離機を供給してきた。製品の基本構造は創業当初から大きく変わらないが、顧客の要望や技術の発達に合わせて改良を重ねてきた。現在は医薬品のほか、食品や化学、化粧品など幅広い分野で活用されている。

強み 品質向上をめざして 多能工を育成

遠心効果や処理量、混合液の状況などによって機種を選択することができ、例えば、分離後の液体排出口の形状なども顧客の要望に合わせてきめ細かく変更する。勝見社長は「受注のうちオーダー品が70%以上を占める。設計から加工・組立まで社内で一貫生産できる

設備や人材を確保しているからこそ柔軟に対応できる」と強調する。

製造現場の技術者の平均年齢は40代前半。一貫生産体制での品質向上を図るため、製作工程や加工技術に広く精通した多能工の育成に取り組んでいる。特に、若手技術者は育成計画にもとづき、ローテーションすることで加工技術の習得やスキルアップを図っている。

製品 改良 装置の自動化や 信頼性向上に注力

材質を厳選し、部品は必要に応じて肉厚に加工して強度を持たせているため、製品の耐久性が非常に高い。それゆえ同じ遠心分離機を60年以上使っている企業がある。修理やメンテナンス時の部品供給は「社内で製作しているため半永久的に可能」と勝見社長は語り、今後、さらにメンテナンス体制を強化する考えだ。

従来機では分離が難しかった微細粒子やタンパク質などの物質に対応するために、重力(1G)の4万倍の遠心効果に高めた超高速遠心分離機を、生産用としては国内で初めて開発した。今後は分離後の固体の取出作業の自動化への開発にも力を入れる。

社長あいさつ



代表取締役
勝見 尚央さん

おかげさまで平成30年に創業100周年を迎えることができました。四代目社長として、この節目を「二度目の創業」と位置づけています。これまでの経営者の思いも受け継ぎながら、次の100年に向けて何事にもチャレンジし、前進を続けていきたいと考えています。

主な保有設備

- 横中ぐり盤 BTD-110H.R16
芝浦機械製 1台
- ターニング盤 TUE-15
芝浦機械製 1台
- CNC精密旋盤 DL65×200
大日金属工業製 6台
- NCフライス旋盤 SMV-10
静岡鐵工製 1台
- 汎用旋盤
DLG-SHE63×200
大日金属工業製 1台



住 所／〒553-0002
大阪市福島区
鷺洲1-8-8

T E L／06-6458-8101

F A X／06-6454-0181

創 業／大正7年3月

設 立／昭和27年12月

資本金／2,000万円

従業員／19名



遠心効果4万G対応の最新鋭機



創業時の手回し型遠心分離機



<https://kansaienshin.co.jp/>